

産学官地による異業種交流で人財育成と事業化を目指す
アクティブライフ文化超創コンソーシアム合宿研修を開催

立命館大学は、社会とつながりながら未知の課題へ挑戦しイノベーション創出をリードする超創人財の育成を目的とした大学院教育「超創人財育成プログラム」を今年4月より実施しております。プログラムの趣旨にご賛同いただき「立命館大学アクティブライフ文化超創コンソーシアム」に加盟された会員（企業および自治体37団体）向け事業として、9月6日から7日にかけて2019合宿研修を開催いたしました。

本合宿研修は国内のヘルスケア×ICTの市場動向を知り、中でも注目が高まるデータ活用について知見を深めると共に、最新の研究を事業化の事例に学んで頂くこと、また、アクティブライフの実現に向けた新事業創出にむけたネットワーク形成を目的として、幅広い年齢・職種から27名の会員が参加しました。

初日は野村證券株式会社様からの「ヘルスケア×ICの市場動向」の情報提供、本学研究者から「事業化に向けた研究紹介」「データ活用の手法としてデータサイエンスの事例」の講義を実施しました。2日目は「大学における研究最前線」として超創人財育成プログラム受講の大学院生4人による研究発表を行い、参加者からの質問やアドバイス、事業化に向けたアイデアが飛び交い、異業種会員、大学院生、教職員が共に取り組む場が醸成され、大変有意義な時間となりました。

今後は本コンソーシアムの活動において、さらなる人財育成の場にすると共に、オープンイノベーションプラットフォームとしての機能を携えたコンソーシアムを目指してまいります。

以上

